

野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方 第2回 退職後に必要なお金と満足度

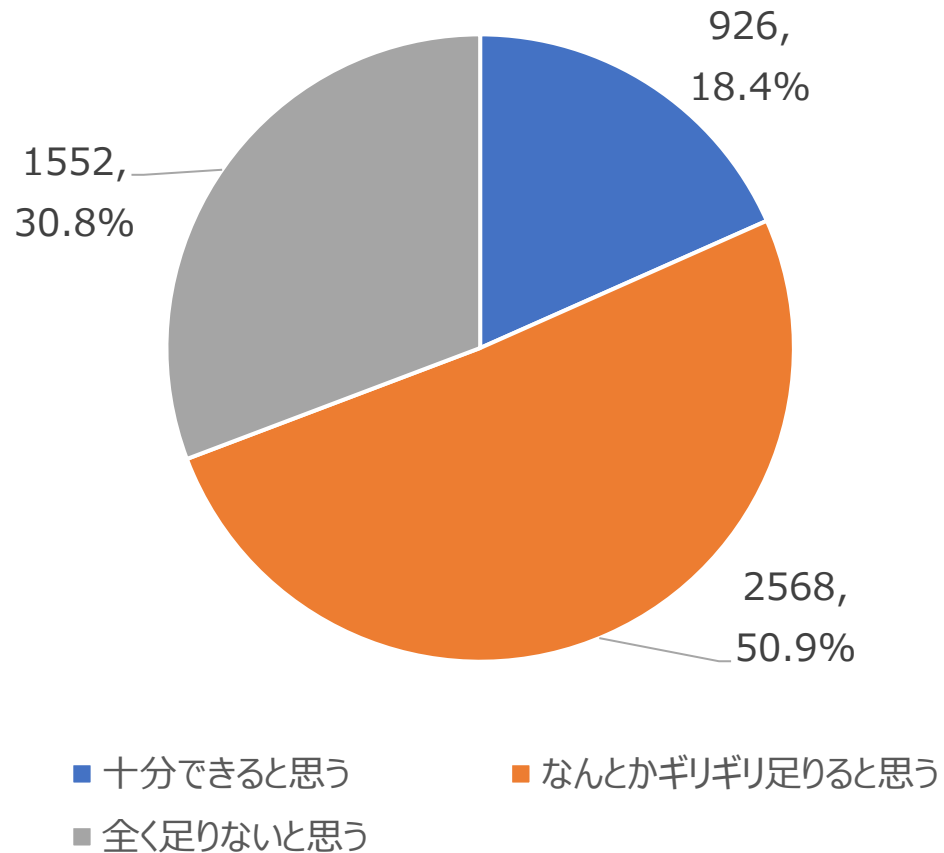
2026年4月10日

合同会社フィンウェル研究所

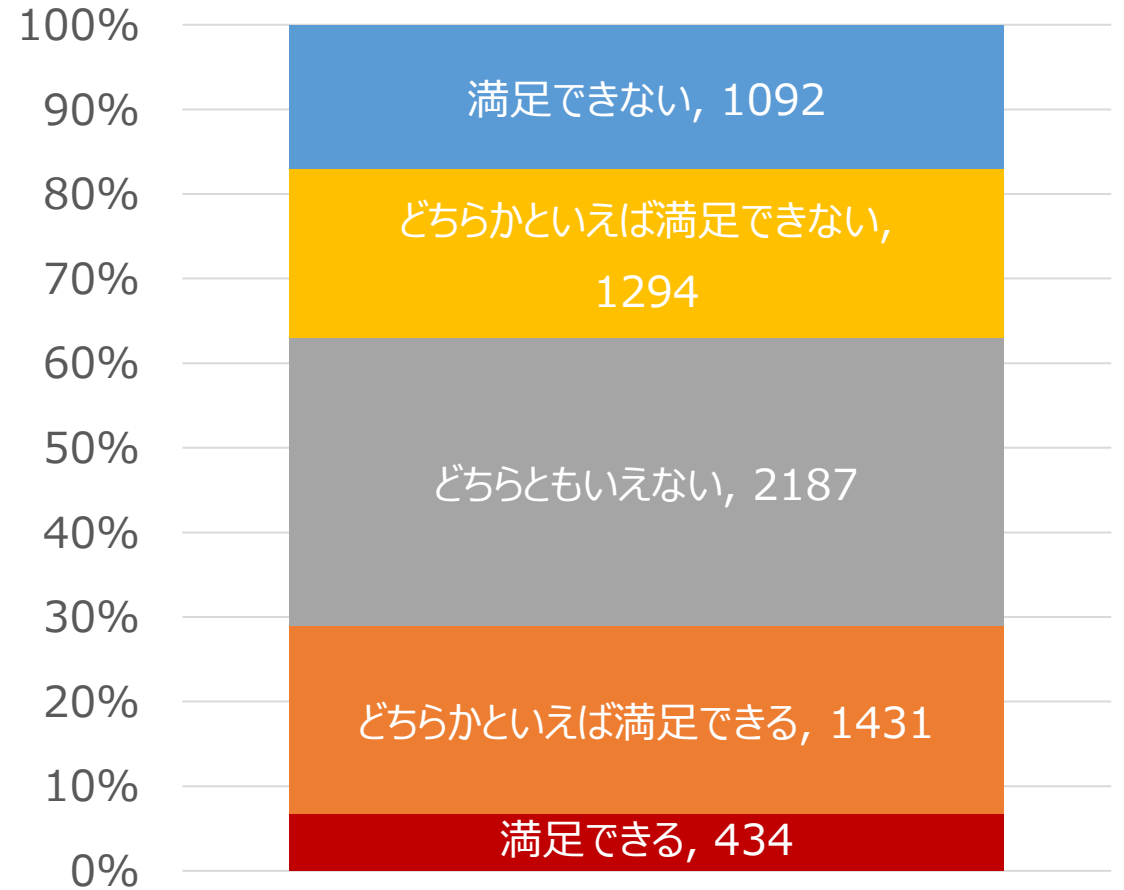
代表 野尻哲史

7割が足りる、4割が不満

資産で生活はカバーできるか (単位：人、%)



保有する資産に満足できるか (単位：人、%)

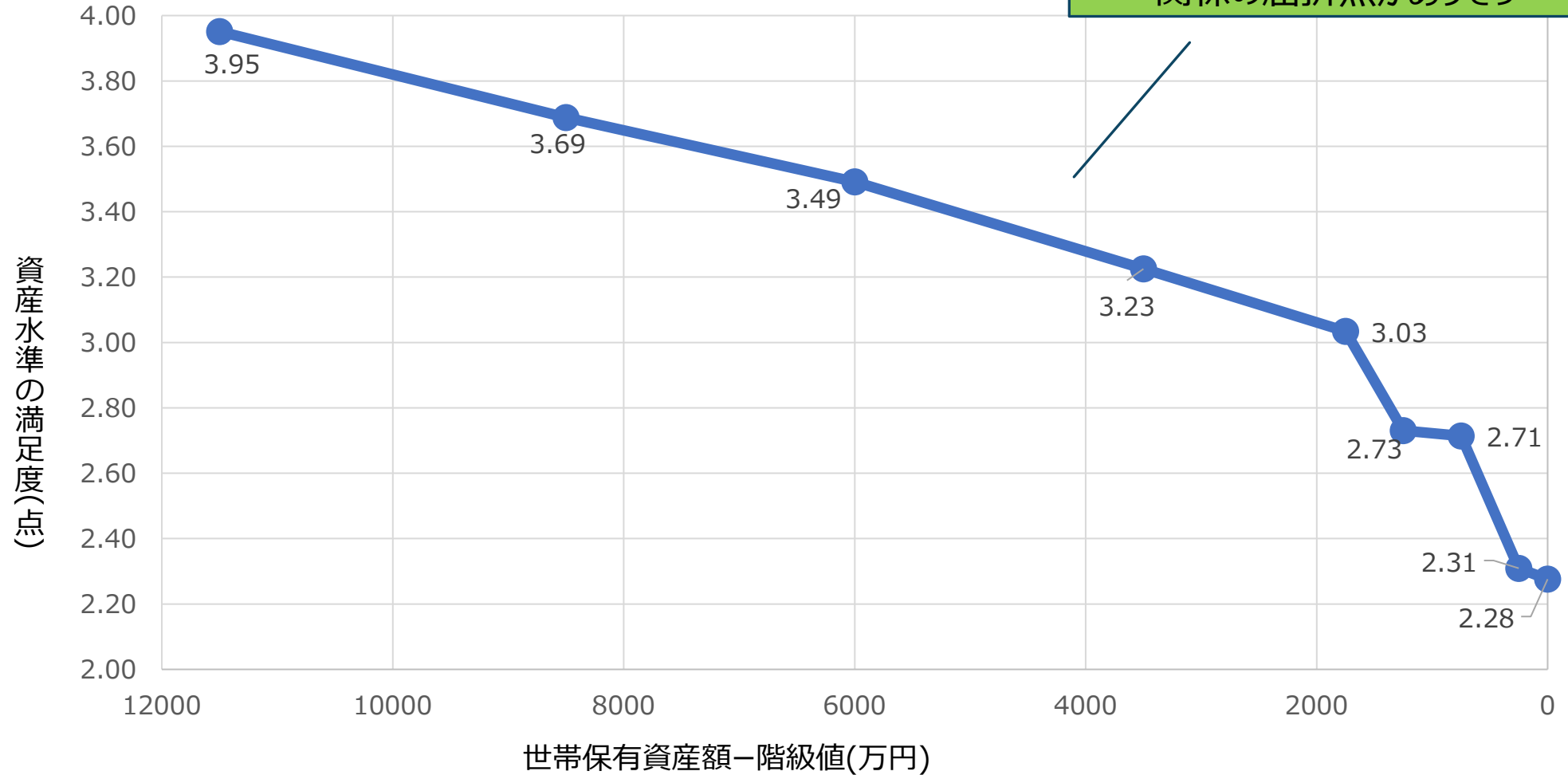


(注)回答者総数は左は資産を保有していると回答した5049名、右は全回答者6438人 (出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

資産が減れば満足度は下がる

資産が減ると満足度が下がること、
資産を使わない背景が
2000万円あたりに
関係の屈折点がありそう

世帯保有資産とその資産の満足度との関係

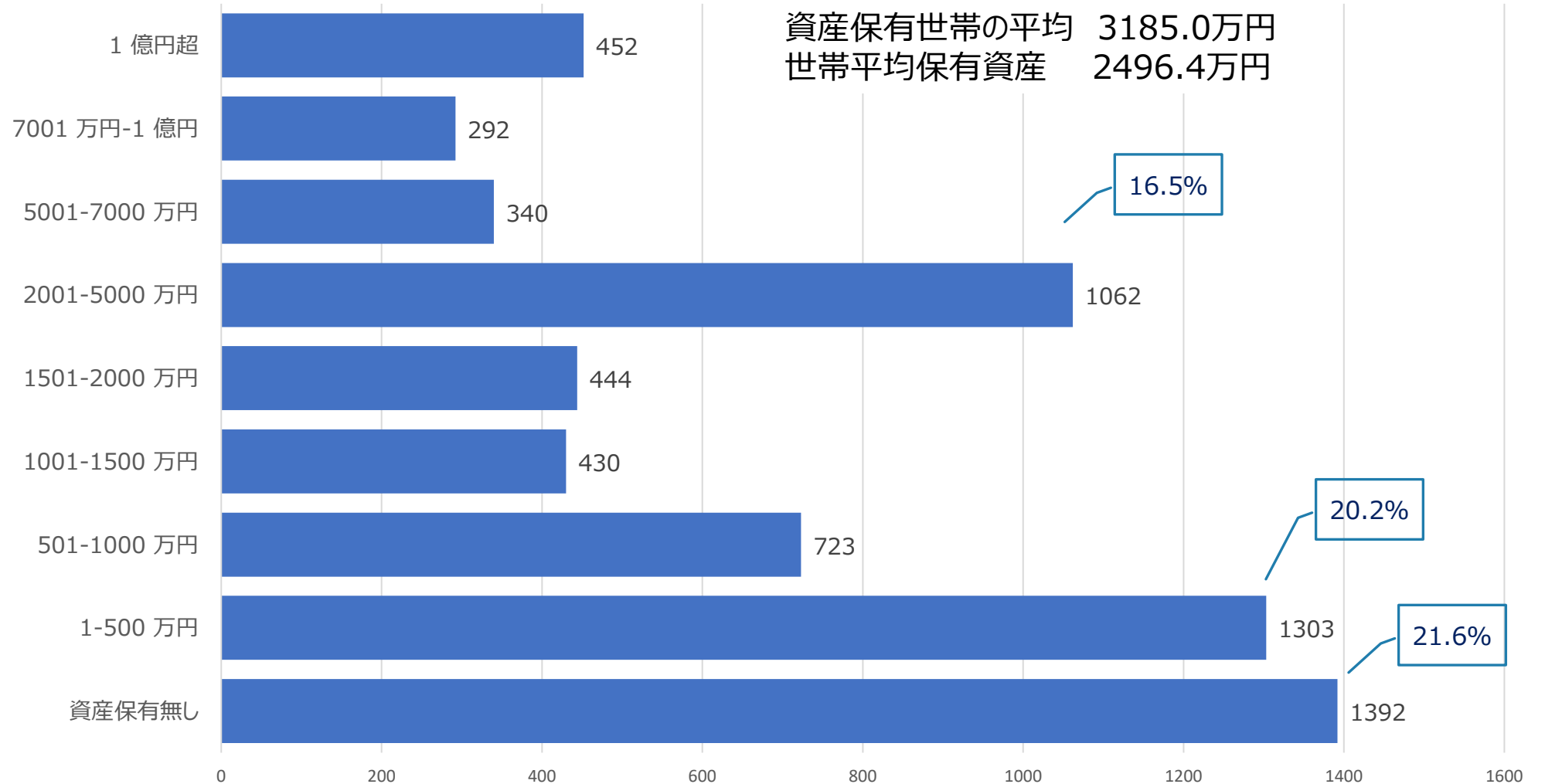


注) 各満足度を「満足できる」から「満足できない」まで5段階評価を行い、世帯保有資産額別に平均値を算出。
出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

資産の分布の特徴

世帯保有資産別の回答者数分布

(単位：人)



(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2026年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所